

ため池の災害と課題

ため池は、大きな河川に恵まれない地域等で、農業用水を確保するために人工的に造成された池のことです。また防火用水として利用されたり、豊かな自然環境の創造にも寄与しています。
一方、ため池が決壊すると大きな被害が発生します。平成23年東日本大震災では、ため池が決壊し、人家などが大きな被害をうけました。農家戸数の減少や土地利用の変化から、決壊に繋がる管理及び監視体制の弱体化が懸念されています。

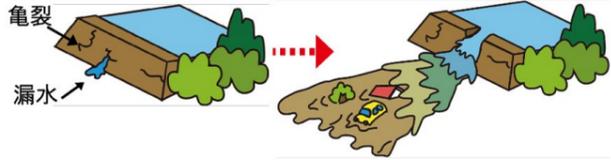


photo: 小谷池

ため池決壊の起こり方と被害

ため池に以下のような現象がみられた場合は、決壊の恐れがあります。すぐ避難しましょう。

- ★堤防に亀裂がみられる。
- ★張りブロックが壊れている。
- ★堤防から漏水がみられる。



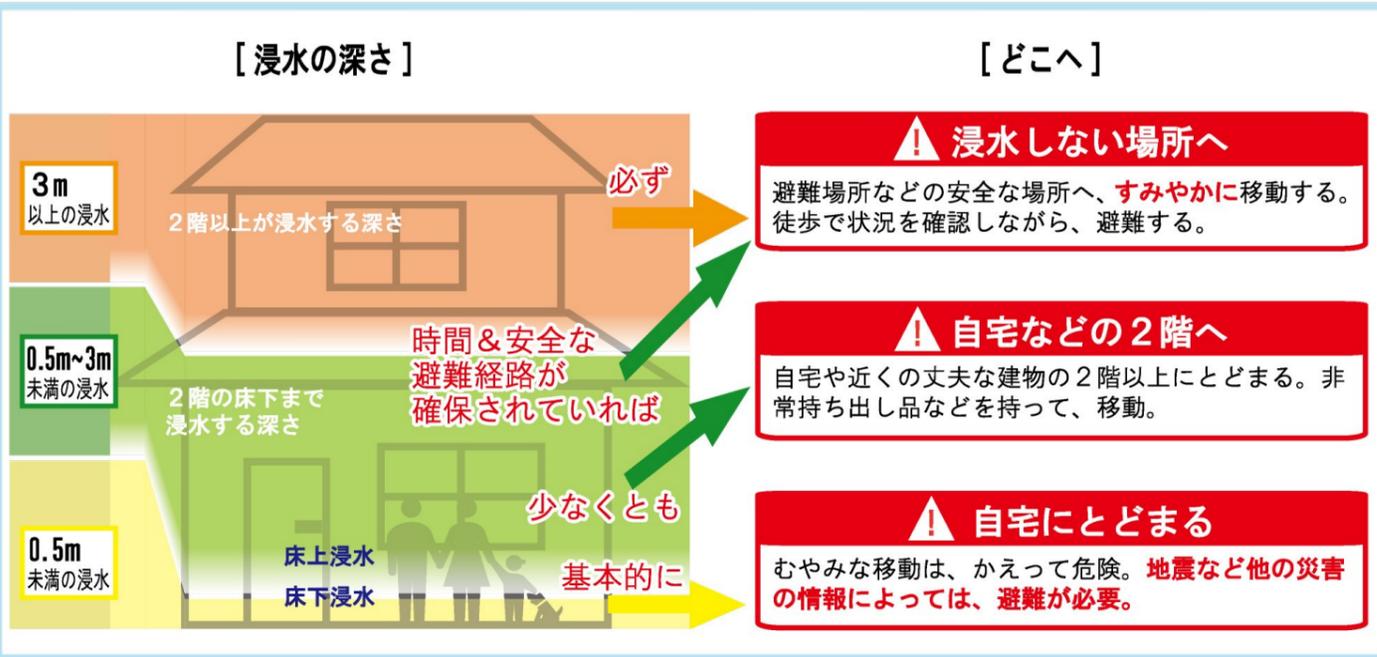
地震・大雨では、ため池が決壊する恐れがあるだけでなく、土砂災害など周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。

ため池決壊と同時に注意し、まずは地震・大雨の災害情報に対応してください。



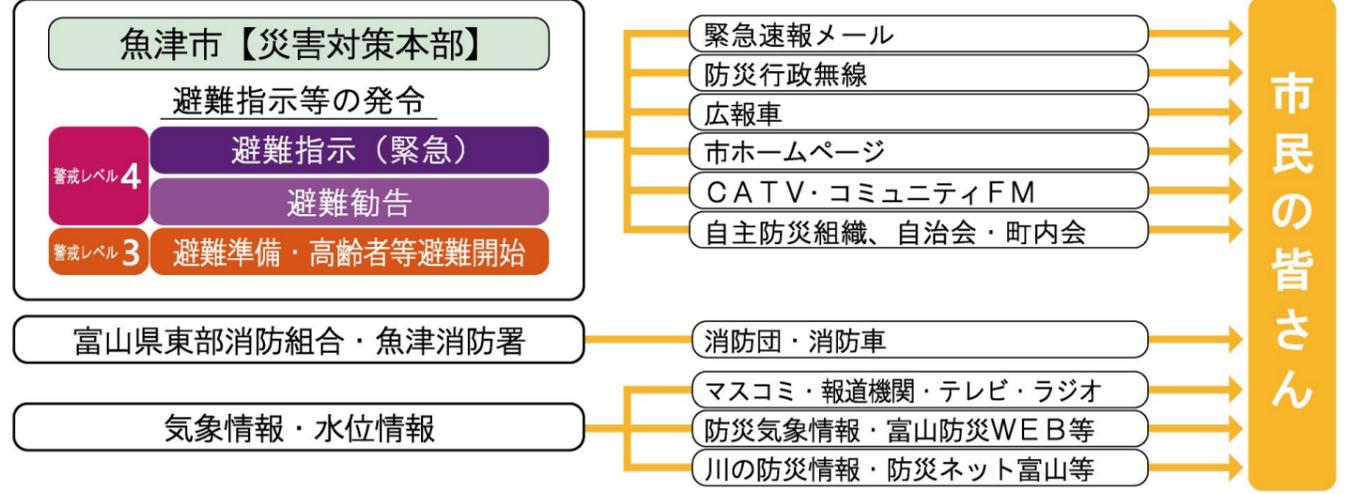
状況に応じた避難行動について

想定される浸水の深さによって、避難行動は異なります。浸水深想定や他の災害の情報から、現状を的確に認識し避難行動を行いましょう。



情報の伝達ルートと災害時の情報収集

情報伝達ルート



緊急情報配信サービス（防災情報メール）

災害が発生する恐れがある場合にご登録いただいたメールアドレスに情報を配信します。

- ・魚津市に気象警報が発表された場合
- ・地震情報（魚津市で震度4以上に限る）
- ・避難勧告、避難指示（緊急）の発令時
- ・緊急に情報伝達が必要な場合など

詳しくは魚津市ホームページより確認することができます。
魚津市メール配信サービス：

<https://www.city.uozu.toyama.jp/contents/mailMagazine/mailMagazine.html>

登録用QRコード



避難情報の警戒レベルととるべき行動（例）

警戒レベルに相当する情報を、早めの避難行動の判断に役立ててください。市からの避難勧告等の発令に注意するとともに、避難勧告等が発令されていなくとも自ら避難の判断をしてください。警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、警戒レベル3や4の段階で避難することが重要です。

警戒レベル	避難行動等	避難指示等の発令	防災気象情報
5	災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる。	災害発生情報	大雨特別警報
4	速やかに避難 ただちに避難を開始してください。できるかぎり近所の方にも声をかけ、協力して指定された避難所へ避難してください。十分な時間が無い方は近くの丈夫な建物の2階以上斜面と反対側の部屋に避難してください。	避難指示（緊急） ※緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令 避難勧告	土砂災害警戒情報
3	高齢者等は避難 非常持出品の用意など、避難の準備を始めてください。お年寄り等、避難に時間がかかる方はただちに避難所へ避難してください。	避難準備・ 高齢者等避難開始	大雨警報・ 洪水警報
2	ハザードマップ等で避難行動を確認する。		大雨注意報・ 洪水注意報
1	災害への心構えを高める。		早期注意情報 (警戒級の可能性)

災害用伝言ダイヤル

災害発生時には電話などが繋がりにくくなります。家族や友人の安否確認、連絡を取る際には災害用伝言ダイヤルを利用しましょう。

171 にダイヤル
音声ガイダンスが流れます

録音は 1 再生は 2
音声ガイダンスが流れます

【被災地の方】
ご自宅、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。
【被災地以外の方】
連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルしてください。

伝言の録音(30秒以内) 伝言の再生(30秒以内)

日ごろの準備

日ごろから、家族の集合場所・避難場所の確認など、災害が発生した際の対応方法を話し合っておきましょう。持ち物は必要最小限で、避難するときの準備をしておきましょう。



防災メモ

- 家族の集合場所
- わが家の避難場所